

「美しい日本語」 金田一晴彦 著より

質問

招かれたお宅で、食卓の上に醤油があるが、手が届かない。

「醤油をとってください」より丁寧な言い方を考えよ。

答え

←丁寧さが増す

- 1 「醤油を取ってくださいませんか」 否定疑問
- 2 「醤油を取ってもらえませんか」 可能の否定疑問
- 3 「醤油を取っていただけませんか」
- 4 「醤油を取っていただいけませんでしょうか」 否定疑問推量
- 5 「恐れ入りますが醤油を取っていただいけませんでしょうか」

日本語の丁寧さは、文末を丁寧語にして、**より間接的な表現**をすること、文頭にも飾りをつけることで、丁寧度をましていく。

「それはお醤油でしょうか」は依頼でなく、疑問文なので、失礼にあたらない。ただし、**勘が鈍い人には通じない**

質問

「無洗米」は、洗わなくていいお米、それとも洗っていないお米。どちらが正しい？

答え

どちらも正解

「無」はどちらにも解釈できる

理屈から言えば「既洗米」、中国人は「免洗米」がいいと言っ

米を洗うという表現自体違和感がある

「米を研ぐ」と言いたいものである

米を洗ってと頼んだら。洗剤で洗った人がいるそう

な。洗剤の匂いに移りそうで嫌ですね。

する人

される人

保証人

使用人

雇用者

雇用人

虎狩り
鷹狩り

鷹を使って狩る

湯飲み
酒飲み

茶碗
酒を飲んでいる人

質問

あなたから見て、先生が教卓の向こう側で、黒板の前にいる。
そのとき先生は教卓の前にいるのだろうか。後ろにいるのだろうか。

答え

「先生は教卓の前にいる」と言ってい。

日本語は、「前」「後」「横」などの空間的な言葉が不備

注 寝台車に乗ったら、下段にきれいなアメリカ人の女性。この女性は夜遅くなくても本を読んでいて明かりを消してくれない。
「私はあなたの上で早く寝たいので、明かり消してくれないか」と下手な英語で頼んだ。すると彼女は真っ赤になって怒り、車掌を呼ぶ騒ぎになった。彼は **on you** と言ったのが悪かった。 **above you** あるいは **over you** なら良かったか？



次の英文の訳し方で、一番いいのはどれだろうか？

Sunshine on my shoulder makes me happy.

主語

目的語

○ 私は妻を持っている
私には妻がある

○ この本は私によって書かれた
私がこの本を書いた

日本語の主語になり易い順番
私 ↓ あなた ↓ 生き物 ↓ もの、こと

主語

- ③ 2 1
背中 に 太陽 が あた っ て 私 は 幸 せ だ。
肩 の 上 に 日 が あた っ て 私 は 幸 せ だ。
私 の 肩 の 上 の 日 差 し が 私 を 幸 せ に さ せ る。

答え

質問 目上の人には、どちらを使う？

1 ご苦労さまでした

② お疲れさまでした

一種の誉め言葉なので、自分に対してつけるのは避けたい言葉

これは私の**素朴な**質問ですが…

この他には、

「**大胆な**」「**率直に**」

相手に説明するコツ

- 1 相手の知識をなるべく活用する」と
- 2 相手の知っている他のものにむすびつける」と
- 3 相手の知らないものは言ってもゴタゴタする
- 4 目にみえるように話す」と
- 5 あまり多く一度に行ってもムダである」と
- 6 第一印象というものを重んじる」と

わかり難い文章例 中抜き

「一番下の妹さんは坊ちゃんですね」



「一番下の妹さんは坊ちゃんをお産みになったのですね」

「カンゴとグツとお飲みください」

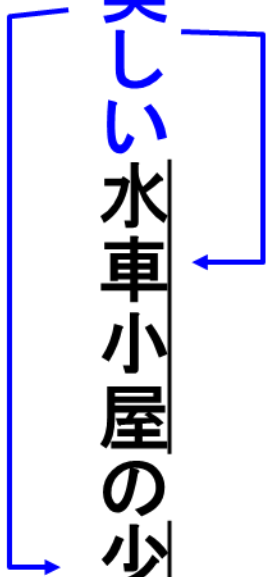
「殺人事件にご協力ください」



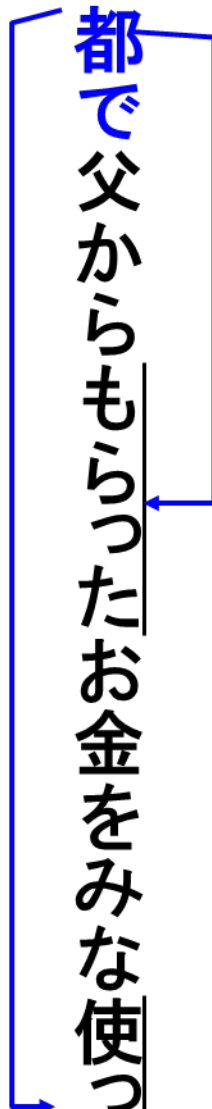
「殺人事件の捜査にご協力ください」

意味がどちらにも解釈できる表現

「美しい水車小屋の少女」



「京都で父からもらったお金をみな使った」



相手に知らせる順番

- ・ 時間の順番
- ・ 重要なことを先に

例 1 いつ、どこが火事で何軒焼けた（結果）

2 水の便が悪かったなので、こんなに大きくなった（経過）

3 原因は漏電らしい（原因）

人に誤解を与える言葉

川の「右岸」「左岸」はどちらから見て？

- ① 川下を見て
- 2 川上を見て



左岸

右岸

ご家族は何人ですか？

世帯主の場合 自分を外して答える
世帯主以外 自分を含めて答える

わかり難い同音語

写真を**とり**に来ました。

取りに 撮りに

薬のコーマシヤル「小さい方のためには、
トイジョーを召し上がりください」

糖衣錠 十以上

おかしい表現

✕「全然素敵だ」「全然いいね」

「全然」は否定の言い回しに先立って使われる副詞

日本語は**述語が文章の最後**に来るために「前ぶれの副詞」を使う

私は昨日学校に行ったら、宿題忘れて先生にすごく怒られた**夢を見た**の。

「あいにく」
「幸い」
「けつして」
「ちつとも」

たの。



私、昨日いやな夢を見たの。

言いたいことを先に！！

新潟行きの急行が参ります。この列車は途中、赤羽、大宮、熊谷、高崎・・・長岡、新津**以外には停車**いたしません。



この列車が停まる駅をお知らせいたします。赤羽、大宮、・・・

日本人は自動詞を好む

自分の行動を「とさらに言い立てたくない

「お湯が沸きました」「お茶が入りました」

自然にお湯が沸くでも、お茶が入るわけではないのに

「お湯を沸かしました」
「お茶を入れました」

この場合は他動詞

「道を歩く」「家を出る」

この場合は自動詞

自然現象では他動詞

大自然にも意思があるか

「夜が明ける」「波が寄せる」「潮は引く」

日本語の「が」は、一番自慢できる助詞

名詞に同じように規則的につく

外国語では、名詞の格変化で変化する。

「イヌが眠っている」

「イヌは眠っている」 ↑イヌというものについて

言っていると

「は」は話題を示す言葉。相手が状況をよく理解しているときに使う

「今日はいいい天気ですね」「ここは静岡です」
「私は暑がりです」

二人並んで歩いていて、道端に鳥がいたとする。

相手が鳥に気が付いていない場合

「あそこ」に鳥がいる」

相手が鳥を認知した後は

「あの鳥はセキセイインコ」だとなる。

英語でも同様

There is **a** bird.

The bird is a parakeet.

昔むかし、あるところに一匹の
キツネがいました。そのキツネ
は大変賢いキツネでした。

「していただく」「させていただけます」

自分の希望を通すこと、それを許していただくのはありがたいことである、ということの意味する

最近の会議体の発表では、「報告させていただく」はやめて「報告します」と言うことになっています

主体性を持った言い方が
好まれる

御免こうむる精神

バスなどに乗っていて席を譲られた場合、「ありがとうございます」「さいます」ではなく、「どうもすみません」

人の家を訪問する場合に、「ごめんください」

「おはようございます」は業界用語？

「こんなに朝早くからお仕事していて頑張っておられますね」という意味が込められている。自分より早くから来て、仕事をしていた人にかける言葉。

まんざら間違った表現ではない

挨拶言葉はいつの間にか短く省略される傾向がある

「お帰りなさい」



「早くお帰りなさいました」

言質を与えまいとする防御態勢の言葉

「考えておきます」「いずれ相談いたしますし
て」「善処いたします」「何と申しましようか」

ことわってから、言いわけをしてから話す

「突然の」指名で何をお話してよいやら
わかりませんが……」「これはいつも言う」と
なんだけれども……」

「〇〇君にはさっき話したのだけれど……」
「自慢じゃないが……」「弁解するようだ
が……」「今さら改まって言うまでもない
が……」

家族構成を表す言葉して日本語は面白い

その家で一番最後に生まれた人間から見ても、誰が何にあたるか、その名を全員が使う

おじいさん、おばあさんが孫の両親を「お父さん」「お母さん」と呼ぶ

日本語には、「兄」「姉」「弟」「妹」という単語があるが、

英語にはない。兄はelder brotherとなるが、単にbrotherとすることが多い。

『ヘンゼルとグレーテル』の翻訳本では、兄妹、弟姉の両方が存在した。原作者は気にしていない。

「働く」と「いそしむ」の差

「働く」は日本製の文字。

人がいきいきと動いている語感
他の人の利益になること

中国では「勤」「労」「務」の漢字を当てる。

義務的な意味

英語ではwork 勉強も含まれる

「いそしむ」は働きながら、働くことに喜びを見出しているというニュアンスがある。

「気」になる人間関係

「気にする」「気が置ける」「気がね」「気遣い」
「心遣い」「気を許す」「気を悪くする」
「気づまり」



自分と他者との間に言わず語らずのうちに伝わりあ
う、微妙な雰囲気



英語だと *mind, heart, mood* を足し合わせた語

断定の言い方を好まない

「〜と言えない」ともない。」
「〜と思われる。」

忌み言葉

結婚式

「重ねがさね」「返すがえす」「戻る」「去る」

病院

「シクラメン」↓「サイクラメン」

商家

「スリバチ」↓「アタリバチ」

理髪店

「ヒゲもすりましようか」↓「ヒゲもあたりましようか」

受験生

「すべる」「落ちる」

成長過程により呼び名が違う

ヨモギの若いのをモチグサ

ツクシの後から出るスギナ

ヤマイモの葉のわきに出るムカゴ

松の実をマツボックリ

ススキの花をオバナ

屋根に葺く材料をカヤ

桜は見る季節・見る時間により

フカザクラ、オソザクラ、ユザクラ、

ヨザクラ、ウバザクラ、ハザクラ



葉が鷹の爪の形

ツメクサ

爪草

詰め草

昔、乾燥させて
荷物の隙間に詰めた



桔梗」の別名 アリノヒフキ
 蟻を桔梗の花ででひっぱたたく
 と蟻酸で青紫の花がピンクに変
 わる



長い名前

リュウグウノオトヒメノモトユイノキリハズシ
竜宮の乙姫の元結の切りはずし



短い名前

イ

アマモ





ヤブレガサ

和傘が破れている



ハンゲシヨウ

半分化粧しているように



ミミナグサ

葉が**ネズミ**の耳に似ている

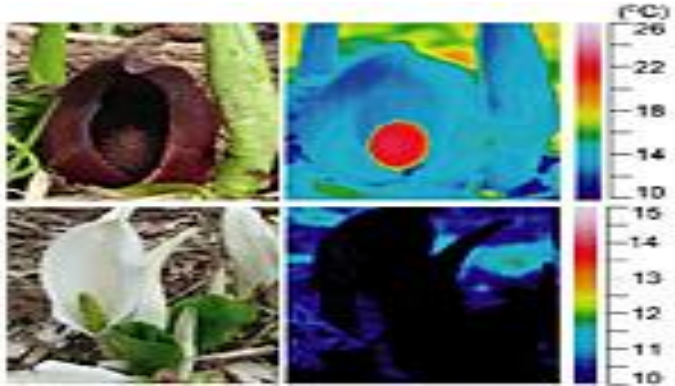


ネコノミ

実は**ネコ**の耳に似ている



ザゼンソウ
(達磨草)



発熱して雪を溶かして出てくる
あまりに臭いので英語では
「Skunk Cabbage (臭いキャベツ)」
と呼ばれている



ベゴノシタ
ヘビノマクラ
水芭蕉



ナナカマド

何回かまどに入れても
燃え難い木



サルスベリ

猿でも滑るほどツルツル



オニシバリ

樹皮が強靱



サギノシリサシ

鷺のお尻を刺すほどに
先が尖っている



キジカクシ

細かい葉を密に茂らせることから

食文化による語彙が多い

日本

Boil

お湯を「わかす」、「飯は「炊く」
人参や大根は「煮る」、卵は「ゆでる」

欧米

「焼く」

蒸し焼き **roast** 照り焼き **broil**

串焼き **grill**

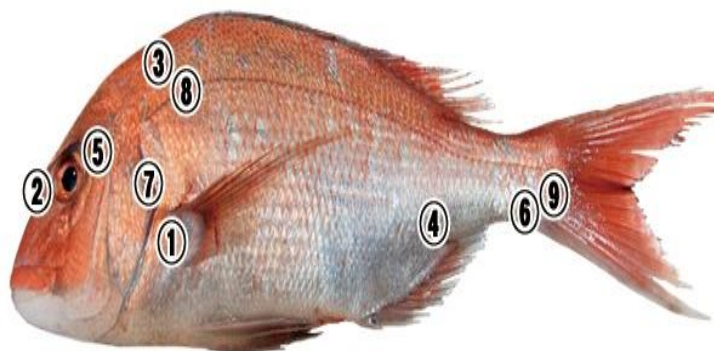
パン焼き **bake**

焦げ目を入れる **toast**

「いためる」

中国
いためる「炒（チャオ）」、高温で瞬間的に
いためる「爆（パオ）」、両面を油焼き「煎
（チエン）」、「ㄇㄟㄣ」（「メン」）

鯛の骨を探そう



?鯛中鯛

①



鯛中鯛（たいちゅうたい）
＝姿形がタイに似る胸鰭の骨。神経の通る穴が目のように見え、全体の姿が魚っぽく映る。

?大龍

②



大龍（だいにゅう）＝頭の骨の一部で、結合する他の骨からはがし取る。眼にあたる孔やたてがみなど、勇ましさを感じる。

?三ツ道具

③



三ツ道具（みつどうぐ）＝頭と背ビレの間にある3本の骨。左から「鋏（くわ）」「鎌（かま）」「熊手（くまで）」。

?鳴門骨

④



鳴門骨（なるとばね）＝尻ビレ近く血管棘が肥大したもの。鳴門の急潮を泳ぐタイにあるといわれるが、地域性はないらしい。

?鯛石

⑤



鯛石（たいせき）＝平衡感覚や聴覚に関係する扁平の骨。「耳石」と言われると、ピンとくる人も多いのでは。

?竹馬

⑥



竹馬（ちくば）＝馬の頭に似た骨。口と耳、たてがみのようであり、乗馬を模した子供の遊具「ちくば」が名前の由来。

?鯛の福玉

⑦



鯛の福玉（たいのふくだま）＝口腔部に潜むダンゴムシのような形の寄生虫。すべてのタイにいるわけではない。

?鋏形

⑧



鋏形（くわがた）＝戦国武将や五月人形の兜（かぶと）の正面に据えられた、一対の角状の飾り「鋏形」に似る。

?小龍

⑨



小龍（しょうりゅう）＝尾骨の下部にあり、関節を丁寧に外すと、龍の角に似た細い骨が抜き取れる。

造語が好きな日本人

「入浴」「海水浴」「森林浴」

「新車」「中古車」「乗車」「対向車」「車間距離」

anthropogy

「人類学」

一般の米国人は思い浮かばない

英語なら、こんなに長くなる
The distance between the car

いろいろな表現

「はばかり」「せっちん」「かわや」「御不浄」

「便所」「お手洗い」「トイレ」「WC」

中国

「男廁」「女廁」

考えこととする場所

「枕(ちん)上」「鞍(あん)上」

「廁(し)上」

庶民の娯楽から生まれた

語句

ばくち打ち

「ピンキリ」「出たとこ勝負」「はったり」
「張り合う」

将棋

「成金」「持ち駒」「高飛車に出る」

講釈師

「手ぐすねを引く」「矢継ぎ早」
「矛先を転じ」「矢面に立つ」
「横槍を入れる」「しのぎを削る」「おっとり」

浄瑠璃

「のべつ膜なし」「捨てぜりふ」「引っ込みが
つかない」「大見えを切る」

からくり(昔のサーカス)

「たらい回し」「さしがね」「手玉にとる」
「さくら」

不足している語句

からだ

「あし」 leg foot

辛さ

わさび からし 塩鮭 しょうが

はやい

速い 早い

「はやく書きなさい」とはどちら？

いい匂いがする

「かぐわしい」という言葉は残したい

方言も面白い

東北の旅館で若い夫婦が出かけるときに番頭が言った

「じいさん、ばあさん、お出かけ」



「ずうさんばんさんお出かけ」

九州の天草地方

「いたちくって、さるくった」



出かけて歩き回ったこと

石川県

「この子はうまそうやな」



太っている子供

心を伝える言葉の力を再発見しましょう